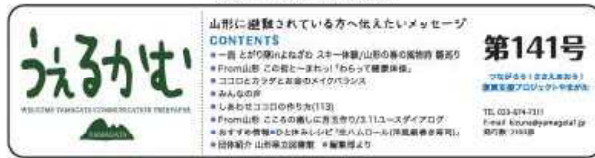


NPO 市民団体と学生との交流会 第4弾

避難者情報誌『うえるかむ』 創刊から11年

協力への感謝、果たした役割



左:『うえるかむ』の報道記事/右:編集作業の様子

ゲスト：結城健司さん

復興ボランティア支援センターやまがた

(山形市松山三丁目 / <http://kizuna.yamagata1.jp/>)

7月8日(金)5コマ目(16時20分~17時50分)

人文社会科学部 **102教室** (予約不要 / 参加無料)

『うえるかむ』141号(2022年2月)

東日本大震災が2011年3月に起き、山形県には一時期1万人を超す方々が避難されてきました。慣れない土地で暮らす避難者の方々へ生活情報をお届けし、震災後の近況などを伝える目的で2011年8月、情報誌『うえるかむ』を『つながろう! ささえあおう! 復興支援プロジェクトやまがた』が創刊しました。以来、県内に避難された全世帯に毎月1回届けられています。

今回は同誌の編集・発行作業を担当されている「復興ボランティア支援センターやまがた」の結城

健司さんをお招きして、これまでの11年間を振り返っていただき、取材や編集にまつわるエピソードや避難者支援に果たした役割などをおうかがいします。関心のある方は是非おいください。

なお本交流会は人文社会科学部の講義「公共政策・地域課題実践演習A2」の一環としておこなうものですが、未履修の方、他学部の学生、教員の方も大歓迎です。